

秋も深まり、木々が色づき、日ごとに寒さが増してきました。
今年の冬は、インフルエンザと新型コロナウイルス（COVID-19）の同時流行が懸念されています。しっかり感染対策をしてのりきりしましょう。

○予防は感染対策の基本です

- ・密閉・密集・密接を避けることは、新型コロナウイルス（COVID-19）対策だけでなくインフルエンザにも有効です。
- ・手洗いや手指衛生・うがい・咳エチケットも基本的な予防行動です。
- ・普段から栄養と睡眠を十分とり、抵抗力を高めていきましょう。
- ・インフルエンザの予防接種をうけるなど免疫力を高めておきましょう。

○他人に移さない為には

- ・引き続き、マスクの着用・手洗い・密を避ける・換気等の基本的な感染対策を遵守してください。



12月1日は世界エイズデー

保健室でも毎年キャンペーン活動しています。

世界エイズデーとは「世界レベルでのエイズのまん延防止+患者・感染者に対する差別・偏見の解消」を目的に、WHO（世界保健機関）が1988年に制定したものです。
毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

エイズって
どんな病気？



『2022年 世界エイズデーキャンペーンテーマ』
このまちでくらしている。私もあなたも。
12月1日は世界エイズデー



エイズ（後天性免疫不全症候群）とは、
HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することによって
おこる病気ですが、HIV感染=エイズということではありません。
からだを病気から守っている免疫力が、低下することによって発症した状態です。

※もしHIVに感染しても早期に気づいて治療を開始すればエイズを発症しません。

感染 経路

1.性的感染

性行為による感染
もっとも多い
感染経路

2.血液感染

HIVが存在する血液の輸血や、
依存性薬物（覚せい剤等）使用時
の注射器具の共用（回し打ち）
などが原因で感染。

3.母子感染

母親がHIV感染者の場合、
妊娠中・出産時・授乳時に
赤ちゃんに感染する。

予防

※性的接触に際して
接触相手を選ぶ
コンドームを正しく使用

体液（血液含む）をさわ
らない。注射器の共用や
安価なタトゥーに注意

感染が分かれば
予防可能
（妊婦健診）

「自分は大丈夫」と決めず、早期発見・早期治療及び感染拡大防止のためにも、**検査を受けましょう！**

※ 感染を見つける方法は検査のみ

**HIV／エイズについて正しい知識を身につけ、自分自身・大切な人を守るために
予防しましょう。**

参考引用データー
API-NET エイズ予防情報ネット
<https://api-net.jfap.or.jp/>



全国HIV／エイズ・性感染症検査
相談窓口情報サイト
HIV検査相談マップ
<https://www.hivkensa.com/>



保健室に相談ください！

- 健診を受けていない人
- 健診結果について確認したい人
- 健診結果が届かない人

2023年学生定期健康診断 4月4日（火）～7日（金）